

## ●プレゼンテーション

### 新規トリンダー試薬 HMMPs の開発とその応用

○ 檜 曜(和光純薬工業株 臨床検査薬研究所)

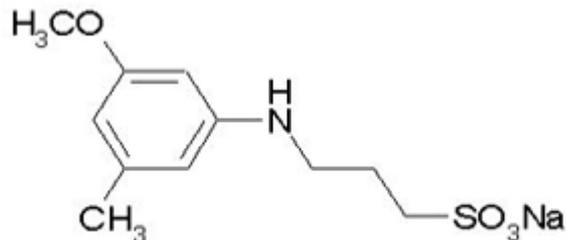
近年、臨床検査薬の形態は凍結乾燥品から液状品が主流となっており、その試薬の安定性を保持することは信頼性の高い測定値を得る上で非常に重要である。生成した過酸化水素の定量を利用した測定系では呈色試薬としてトリンダー試薬が多く用いられるが、溶液状態で長期保存中に着色し試薬盲検や感度に影響を与えることがあった。

そこで我々は従来のトリンダー試薬について液状での安定性について評価するとともに、化学構造的視点から考察し、より安定で応用可能なトリンダー試薬の開発を目指しスクリーニング合成を行った。

トリンダー試薬はアニリン誘導体を基本に、導入する置換基により性質が変化することが知られている。汎用自動分析装置用の試薬として一般的に要求される性質は①測定対象物に応じた感度②測定波長がビリルビンなどの色素の影響を受けない波長域 (550nm 以上) ③高い水溶性④高い呈色安定性などであるが、我々はさらに⑤液状安定性という観点から置換基の最適化を試み、これら全ての性能を兼ね備えた N-(3-スルホプロピル)-3-メトキシ-5-メチルア

ニリン (HMMPs) を開発した。

今回、本 HMMPs をクレアチニン、トリグリセライド、総コレステロール、尿酸測定試薬に適用し、有効期間を冷蔵2年間とした試薬を開発したので、この製品性能の一部についても紹介する。



N-(3-スルホプロピル)-3-メトキシ-5-メチルアニリン (HMMPs)

連絡先：06-6499-9120